



質問順 5番

AM 8:16 受



令和6年2月27日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 (4 番)

山本 安雄



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第61条第2項の規定により質問の通告をいたします。

記

質問事項	質問要旨 (具体的に)	質問の相手
1 人口減少対策について	(1) 令和5年12月23日付の日本海新聞で、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)が公開した2050年時点の推計人口で、鳥取県内の市町村のうち最も人口減少率が高いのは若桜町の61.9%だった。と報道された。令和6年2月26日付の日本海新聞で報道があった通り、保育料の無償化、給食費の無償化や住宅の新築や中古物件の購入など住宅支援制度も創設している。このような施策をしている若桜町ですが、ここ10年間の転入世帯数・人数、動機(決めて)及び転出世帯数・人数、動機(決めて)を把握している範囲でお尋ねします。	町長
	(2) 全国的に人材不足が予想される中、地元の産業が持続する為の労働力の確保、定着が課題となる。厚生労働省の地域雇用開発助成事業があるが、対象外となっている。持続する地元産業育成のためにも、町独自の人材確保、定着に向けての支援策を検討することについて考えを伺います。	町長

若桜町議会議員（ 4 番）

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質 問 の 相 手
2 J クレジット認 証の進捗について	<p>(1) 令和 2 年 3 月定例会の一般質問で J クレジットの認証、使用方法について質問しました。当時の町長は若桜町地域内エコシステム検討協議会を立ち上げ、「J クレジットの導入を検討項目として来年度具体的な検討を行う。」と答弁を頂いた。昨年 9 月定例会で森田議員の一般質問の答弁では、「取組事例等の情報収集を行って検討中の段階で、制度の内容を細部まで熟知していません。」との答弁でありました。何が課題となっているのか伺います。</p>	町 長
	<p>(2) J クレジット認証の目標時期とその後の販売方法について具体的に伺います。</p>	町 長
3 施政方針について		町 長